

行財政システム再構築プラン策定に向けて

第2回ワークショップを9月30日に開催。今回は、全体討議で提案された意見を4つに分類し、参加者がテーマ別のグループに分れて討議を深めました。

地域づくりと人づくり

◎リーダー 辻野 浩さん

全体討議の主な意見

□既存施設を利用した子供の広場など、親子が気軽に集える空間づくり

□行政とのパートナーシップを基本とした障がい者を支えるネットワーク

□障害者在宅福祉サービスの整備
□やる気を引き出す仕組みづくり など

グループの検討内容

子育て支援や農業の魅力をどのように町の活性化・地域づくりにつなげていけるかを検討、議論を行った。

地域住民が関わるシステムづくりを行政は積極的に検討すべき。

このようなシステムは、福祉関係全般の支援にも活用可能ではないか。

住民参画とボランティア

◎リーダー 安藤頼孝さん

全体討議の主な意見

□地域福祉の活性化・学生ボランティアと地域住民の活動推進
□既に札幌市などで実施している町内会でのパートナーシップ

除雪（排雪）によって町民も若干の費用負担をすべき

□図書室の活性化を図るために町民の力の利用

□役場職員は、町の中を歩き回るなどして、もっと地域に根ざすべき など

グループの検討内容

メンバーがテーマに沿った意見を付せんに書き込み提出した後、項目別に分類する作業を行った。

特に、ボランティアに関する意見を中心に意見交換が弾んだ。

民間と行政の役割分担

◎リーダー 安部 慎さん

全体討議の主な意見

□行政のスリム化・NPO活動の推進と業務のNPOへの委託促進

□民間で出来ることは何か、何をすべきかを検討する必要

□管理施設（住宅、体育館など）の委託
□一人3役の仕事を行える多機能な人材育成 など

グループの検討内容

KJ法という検討手法を用いて、縦軸に「収入と支出」、横軸に「民間か協働」というテーマを取り、対抗軸作りを行った。

その上で、全体討議での意見を分類整理し検討を進めた。

快適で住みやすい町づくり

◎リーダー 松岡良尚さん

全体討議の主な意見

□学生のニーズに併せた家賃設定（町の助成）による定住化の促進

□便乗大作戦（ゆとり送迎バスが空で走行しているときに、町民を乗せる）

□一人暮らしの学生家賃割引制度（まちの商店街での買い物ポイント制にし、貯めると家賃が安くなる）

□行政の積極的なアプローチによる企業誘致を行い雇用促進を進める など

グループの検討内容

全体討議での意見を基に、「利用しやすい交通機関とは」、「除排雪のあり方」、「まちの活性化について」、「学生の定住を進めるためには」といった具体的な検討テーマを設定し、議論を行った。



プラン策定検討会議を設置しました

(敬省略)

団体名	氏名
北海道医療大学学長	廣重 力
JA北石狩代表理事組合長	川原 博志
当別町商工会会長	河村 佳男
当別建設協会会長	宮永 雅己
当別町行政推進員連絡協議会会長	高島 勇一
当別町歴史ボランティア会長	久保 義雄
太美商工振興会会長	大塚 初雄
当別町商工会女性部長	石本留美子
当別町消費者協会会長	下段 キミ
当別町ボランティア連絡協議会会長	八木和香美

総合的に再構築プランの検討を進めようと、来年3月まで6回程度の開催を予定しています。10月19日に第1回会議を開催し、座長に北海道医療大学学長の廣重委員、副座長に当別町商工会会長の河村委員を選出しました。今後の会議内容については、広報誌やホームページで随時お知らせします。

住民参加による「行財政システム再構築プラン」づくりを進める中で、町内の各種団体の代表者など有識者10名で構成する「プラン策定検討会議」を設置しました。

この会議では、現在実施しているワークショップやグループインタビューでの意見やアイデアなども参考に



町長の日記

16年10月17日(日)

朝夕めっきり冷え込む時期になったが今日は朝7時から秋の清掃日で一斉に家の廻りのゴミ拾いを実施した。

ほとんどの家の人が出てこられたが朝は高齢の方が元気がよく感じた。

私も負けておられない気分になって、早朝の議長杯パークゴルフと8時45分からの中小屋小学校の学芸発表会は失礼したが、9時45分に丘珠空港で中川参議院議員に面会して、12時頃コミセンで催されている石狩管内の郷土芸術祭をのぞき、午後1時30分から末広町内会館で開かれた友好の会に参加し、4時からは「町村外務大臣の就任を励ます会」に出席し6時から農家の経営体の集まりに行き今日の全ての日程を終えた。

実は18号台風の翌朝、薄暗いうちにマイカーで走り回っていたら心配そうな顔をした内海道議さんと出会った。

花ハウスの無残な姿に衝撃を受け支庁や道庁に説明にも行ったが、農家の心情が胸にこたえていたので、今日参議院議員農林水産常任委員長の中川先生に陳情出来て少しだけホッとした。

この間、花卉組合が当別の花の事で東京市場で大変お世話になった人の送別会を催したが、台風の痛手を少しも感じさせず大勢が集まって当別の花の恩人に感謝している姿はとてもたくましく思い美しくさえ見え「なんて素晴らしい人達なんだろう」と心がうたれた。

その直後、挨拶で声がつまんだのは町長顧問でもある中央花卉の井関専務さんと別れる寂しさの中で「この人達が当別の農民なんだ」と急にとても愛しくなったからである。

こんなにいい人達にいつまでも当別の花を作ってもらいたいと思った。

明日は少し暖かい朝になるだろうか。

当別町長泉亭俊考



町は、今年行った「大きな木コンテスト」で認定された木の所有者13名と美しい景観委員会の委員を集めて自慢の樹木を初めとして緑の大切さや周辺の環境整備を考える「大きな木サミット」を開きました。

参加者は、大きな木に認定された江川秀夫さん(高岡)のポプラ(幹周り4m85cm)と、遊佐ヒロ子さん(樺戸町)のイタヤカエデ(幹周り3m18cm)を見学し、実際に見る木の大きさに驚いていました。

意見交換会で泉亭町長は、「大きな木の認定で皆さんの木を大切に守っていくこうとする意識も向上し、当別町にある何気ない風景も、住民皆さんの意識で美しく磨き上げることができると思う」と挨拶し、会場

内にはスクリーンに認定された大きな木が写し出されました。

認定された方からは「開拓前からある木を次の世代につなげていきたい」、「落ち葉などが厄介に思ったこともあったけど認定を受けてこれからも大切に守っていかなければと感ずる」、「歴史を見つめてきた木をこれからも大切にしたい」など木にまつ



わるエピソードや想いを語り合いました。欠席者からも「両親が残した庭や自然木を改めて見つめ直す機会となり、すばらしい環境を残してくれた先祖・両親に改めて感謝しています」などのメッセージが寄せられていました。

町民皆さんが、木や緑を大切にす
る気持ちや周辺の環境を良くしてい
こうと考えること、行動すること
が、美しいまちづくりの近道なの
かもしれません。

まちづくり推進課
(☎23-3073)